

競輪とオートレースの補助事業

主催	公益財団法人 JKA
目的	競輪・オートレースの売上金の一部で、社会的課題の解決に取り組む活動を支援
補助額	50万円～1億8,000万円（事業によって異なる）
補助率	2分の1～1分の1（事業によって異なる）
補助対象経費	旅費、物件費、事業費、施設の建築費、検診車、診療車、福祉車両など（事業によって異なる）
ポイント	対象事業は、自転車・オートレースの振興から子ども若者・高齢者・障がい者の社会福祉の増進、災害支援まで非常に幅広く、事業ごとの採択率も公開されているので、自分達の活動がどの区分にあたるか見極めが重要です。
URL	https://www.jpnsport.go.jp/sinko/josei/tqid/77/Default.aspx

スポーツ振興くじ助成

主催	日本スポーツ振興センター（JSC）
目的	スポーツくじの販売により得られる収益をもとに、地方公共団体及びスポーツ団体が行うスポーツの振興を目的とする事業に対して行われる
補助額	450万円（NPOの場合）
補助率	5分の4
補助対象経費	謝金、旅費、借料、印刷製本費、スポーツ用具費、通信運搬費、雑役務費、委託費など（事業によって異なる）
ポイント	スポーツ団体がスポーツの振興のために行う事業（通年行う教室ではなく、年に数回の大会のイメージ）が対象です。申請時に必要な書類が膨大なため、もれなく用意することが重要です。
URL	https://hojo.keirin-autorace.or.jp/

子どもゆめ基金

主催	独立行政法人国立青少年教育振興機構
目的	国と民間が協力して子どもの体験・読書活動などを応援し、子どもの健全育成の手助けをする基金
補助額	100万円～600万円（活動規模によって異なる、新規団体は半額）
補助率	1分の1
補助対象経費	謝金、旅費、雑役務費、印刷製本費、通信運搬費、借料損料、消耗品費など
ポイント	自然体験や交流を目的とする活動など7つの分野に分かれており、それぞれ求められる要件に合致した活動内容であることが必要です。子どものためのイベントを実施したいけれど資金面に不安がある団体に、非常にオススメです。
URL	https://yumekikin.niye.go.jp/

NPO法人助成事業

主催	社会福祉法人清水基金
目的	障がい者の施設を運営し、社会的自立支援・地域移行を図るNPO法人に対し、各種の助成を行うことにより、障がい者福祉の増進に寄与することを目的とする。
補助額	80万円～1,500万円
補助率	5分の4以内
補助対象経費	障がい者の福祉増進を目的として運営されている第2種社会福祉事業において、利用者に必要な機器、車輌、建物（新築・改修・増改築）など
ポイント	障がい者の施設運営というピンポイントな助成金ですが、設備投資を検討されている該当団体にとっては非常にありがたい制度です。1年の予算は総額1億円、助成件数は30件程度です。
URL	https://yumekikin.niye.go.jp/

赤い羽根共同募金

主催	社会福祉法人中央共同募金会
目的	さまざまな地域課題や社会課題を解決するため、日本全国で取り組まれている民間の活動を資金面で支える
補助額	85万円～500万円（東京都の場合、事業によって異なる）
補助率	4分の3以内（東京都の場合、事業によって異なる）
補助対象経費	備品購入・整備、車両費、特別事業費など
ポイント	言わずとした赤い羽根募金の配分を受ける助成制度です。都道府県、市区町村に窓口があり、補助額・補助率・対象経費はそれぞれ異なるので、しっかりと確認しましょう。
URL	https://yumekikin.niye.go.jp/

認定N P O法人取得資金助成

主催	公益財団法人 S O M P O 福祉財団
目的	地域の中核となり、持続的に活動する質の高いN P O法人づくりを支援し、「認定N P O法人」の取得に必要な資金を助成
補助額	30万円
補助率	1分の1
補助対象経費	認定N P O法人の取得に関する費用（会合費、人件費、機材費など）
ポイント	認定N P Oの取得には、パブリック・サポート・テスト（寄付実績の要件）や、厳格な会計管理などの条件を満たす必要があります。その際に、例えば行政書士や税理士にサポートを依頼したり、会計ソフトを導入したりする費用が助成されます。
URL	https://www.sompo-wf.org/jyosei/nintei-npo.html